

保護者の皆様へ

令和3年10月29日

門真市立砂子小学校
校長 満永 誠一

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果のお知らせ

今年度5月27日に実施された全国学力・学習状況調査について、本校の結果をまとめましたのでお知らせします。

この調査は、6年生の国語・算数について行われたもので、学校全体の傾向を示すものではありませんが、1年生から積み重ねてきた学習指導の結果を反映したものであり、学校ではその結果を踏まえて、今後の授業改善などの学力向上対策に役立ててまいります。

1. 学力の概要

①全国平均との比較

教科	国語	算数
全国平均に対する評価	下回っている	同程度である

②全国において正答率が高く、本校においても正答率が高かった問題例

国語

- 文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する。 73.1%
- 漢字を書く。 80.8%

算数

- 棒グラフから、正しく数値を読み取る。 96.2%
- 道のりと時間の関係について考察する。 88.5%

③全国において正答率が高かったものの、本校において正答率が低かった問題例

国語

- 目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える。 57.7%
- 目的や意図に応じ、資料を使って話す。 61.5%

算数

- 条件に合う必要な情報を選択する。 50.0%

2. 学習状況調査の概要（肯定的意見の割合） 設問7.8は同時に行った大阪府の『すくすくウォッチ』から

a.生活習慣・学習習慣等について

	設問	砂子小	全国
1	自分にはよいところがある	77.7%	76.9%
2	話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできている	66.7%	78.8%
3	平日1日あたり1時間以上自宅で勉強している	22.2%	62.5%
4	平日1日あたり10分以上読書する	25.9%	61.2%
5	今すんでいる地域の行事に参加していますか	66.7%	58.1%
6	国語の授業で学習したことは将来社会に出たときに役に立つと思いますか(算数も同質問)	共に100%	国91.8% 算92.6%
7	黒板に書かれたことをノート等に写している	100.0%	府94.6%
8	自分は何が得意で何が苦手かをわかっている	97.1%	府87.6%

b.上記表についての簡単な説明文

設問1がほぼ全国平均ですが、設問3.4のように学習時間や読書時間は全国平均に比べて非常に低い数値となっています。しかし設問6のように現在の学習が将来の役に立つと考えている児童は100%であり、設問5からは、地域の行事にも積極的に関わっていることがわかります。また学習が将来に結びつくと考えているからか、黒板に書かれたことはきちんとノートに書き写しています。学力調査などの結果(得点)とそれぞれの設問との関係性を見ると、設問2の『話し合い活動をととして、自分の考えを深めたり、広げたりできている』や、その他の設問『いじめはどんなことがあってもいけなことだと思ふ』や『いやなことがあっても友達に八つ当たりしない』といった態度と結果には強い関係性があります。このように本校では集団生活でのルールや思いやり、仲間との協力の姿勢などが結果に良い影響を与えていると考えられます。

3. 学校の取組と評価

・国語と算数ともに、資料を見て情報を読み取る問題では正答率が高かった。しかし、その情報から自分で思考して求められている事柄を正しく表現する問題での正答率が低くなった。

4. 今後の取組について

- 各教科の学習を通してPCを活用する。また、適宜AIドリルをで既習内容のふり返りを行う。
- 砂子タイムの国語・算数の学習において、思考し表現する問題に多く取り組む。

5. 保護者の皆様へ

今日、お子様に個人の結果票もお渡しますので、ここに示したの全体的な傾向と合わせて見てください。ただ、学力調査でわかるのはあくまで、お子様の様子の一部であることもあわせてご理解ください。今後、本校では、子どもたちが、仲間と協働しながら学びに向かう姿勢も学力の基本であると考え、しっかりと育ててまいります。